

出雲商工会議所管内 業種別景況（平成29年7月～9月期）

《全業種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成28年7月～9月期)と比べた 今期(平成29年7月～9月期)の状況				前期(平成29年4月～6月期)と比べた 今期(平成29年7月～9月期)の状況				今期(平成29年7月～9月期)と比べた 来期(平成29年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	33.3	36.8	29.8	3.5	31.6	28.1	40.4	△ 8.8	52.6	31.6	15.8	36.8
2 採算	31.6	49.1	19.3	12.3	28.1	45.6	26.3	1.8	38.6	45.6	15.8	22.8
3 仕入単価	22.2	77.8	0.0	22.2	15.1	84.9	0.0	15.1	22.6	69.8	7.5	15.1
4 従業員数					9.4	83.0	7.5	1.9	9.4	83.0	7.5	1.9
5 資金繰り					9.3	81.5	9.3	0.0	9.3	83.3	7.4	1.9

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		33.3	45.6	21.1		12.3		38.6	52.6		8.8	29.8		1.8

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	26.3	8.8	7.0	42.1	8 設備店舗の狭小・老朽化	7.0	15.8	5.3	28.1
2 大企業進出による競争激化	7.0	7.0	8.8	22.8	9 取引条件の悪化	0.0	5.3	5.3	10.5
3 製品・商品単価の下落	5.3	1.8	3.5	10.5	10 事業資金の確保難	7.0	5.3	7.0	19.3
4 原材料高及び不足	7.0	7.0	5.3	19.3	11 需要の停滞	7.0	8.8	3.5	19.3
5 在庫製品・商品の過剰	3.5	0.0	0.0	3.5	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	14.0	12.3	10.5	36.8	13 その他	10.5	5.3	3.5	19.3
7 人件費の増加	1.8	3.5	3.5	8.8	無回答	3.5	19.3	36.8	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

《 製 造 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（平成28年7月～9月期）と比べた 今期（平成29年7月～9月期）の状況				前期（平成29年4月～6月期）と比べた 今期（平成29年7月～9月期）の状況				今期（平成29年7月～9月期）と比べた 来期（平成29年10月～12月期）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	12.5	50.0	37.5	△ 25.0	25.0	37.5	37.5	△ 12.5	62.5	25.0	12.5	50.0
2 採 算	12.5	62.5	25.0	△ 12.5	25.0	37.5	37.5	△ 12.5	62.5	12.5	25.0	37.5
3 仕 入 単 価	12.5	87.5	0.0	12.5	12.5	87.5	0.0	12.5	25.0	62.5	12.5	12.5
4 従 業 員 数					25.0	62.5	12.5	12.5	12.5	75.0	12.5	0.0
5 資 金 繰 り					0.0	75.0	25.0	△ 25.0	12.5	75.0	12.5	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		12.5	50.0	37.5		△ 25.0		12.5	62.5		25.0	△ 12.5		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	25.0	25.0	12.5	62.5	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	12.5	12.5	0.0	25.0
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	12.5	12.5	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	25.0	25.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	12.5	0.0	0.0	12.5	10 事 業 資 金 の 確 保 難	12.5	0.0	0.0	12.5
4 原 材 料 高 及 び 不 足	12.5	12.5	0.0	25.0	11 需 要 の 停 滞	12.5	25.0	0.0	37.5
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	0.0	25.0	12.5	37.5	13 そ の 他	12.5	0.0	0.0	12.5
7 人 件 費 の 増 加	0.0	0.0	25.0	25.0	無 回 答	0.0	0.0	12.5	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 包材価格が上昇している
- ・ 年間を通じ受注・納期の変動が激しく、忙しい時期は仕事を断らなければならない
- ・ 県外からの問い合わせが徐々に増えている

《卸 ・ 小 売 業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(平成28年7月～9月期)と比べた 今期(平成29年7月～9月期)の状況				前期(平成29年4月～6月期)と比べた 今期(平成29年7月～9月期)の状況				今期(平成29年7月～9月期)と比べた 来期(平成29年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	41.2	29.4	29.4	11.8	41.2	29.4	29.4	11.8	41.2	23.5	35.3	5.9
2 採 算	29.4	47.1	23.5	5.9	23.5	47.1	29.4	△ 5.9	23.5	47.1	29.4	△ 5.9
3 仕 入 単 価	11.8	88.2	0.0	11.8	0.0	100.0	0.0	0.0	11.8	76.5	11.8	0.0
4 従 業 員 数					5.9	88.2	5.9	0.0	5.9	82.4	11.8	△ 5.9
5 資 金 繰 り					11.8	82.4	5.9	5.9	0.0	100.0	0.0	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		29.4	52.9	17.6		11.8		35.3	58.8		5.9	29.4		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	41.2	11.8	5.9	58.8	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	5.9	11.8	17.6
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	5.9	11.8	11.8	29.4	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	5.9	5.9	11.8
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	11.8	5.9	11.8	29.4	10 事 業 資 金 の 確 保 難	11.8	0.0	17.6	29.4
4 原 材 料 高 及 び 不 足	0.0	11.8	0.0	11.8	11 需 要 の 停 滞	11.8	11.8	5.9	29.4
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	5.9	0.0	0.0	5.9	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	11.8	23.5	0.0	35.3	13 そ の 他	0.0	5.9	0.0	5.9
7 人 件 費 の 増 加	0.0	0.0	0.0	0.0	無 回 答	0.0	5.9	29.4	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 猛暑だったので、夏商品が多く売れた
- ・ 暑くて商品が売れなかった
- ・ 12月以降小麦粉価格上昇の予定
- ・ 市内に同業種の店がオープンし売上減少。インターネット販売に力をいれたい

- ・ インターネット購入者が多くなってきており、売上に影響が出てきている
- ・ 送料の値上げ、配送日時が伸びる等運送関係に苦労している
- ・ 求人を出しても人がこない

《 飲 食 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成28年7月～9月期)と比べた 今期(平成29年7月～9月期)の状況				前期(平成29年4月～6月期)と比べた 今期(平成29年7月～9月期)の状況				今期(平成29年7月～9月期)と比べた 来期(平成29年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	33.3	33.3	33.3	0.0	16.7	33.3	50.0	△ 33.3	50.0	50.0	0.0	50.0
2 採 算	25.0	66.7	8.3	16.7	25.0	58.3	16.7	8.3	25.0	75.0	0.0	25.0
3 仕 入 単 価	45.5	54.5	0.0	45.5	40.0	60.0	0.0	40.0	40.0	60.0	0.0	40.0
4 従 業 員 数					10.0	80.0	10.0	0.0	0.0	90.0	10.0	△ 10.0
5 資 金 繰 り					0.0	100.0	0.0	0.0	20.0	70.0	10.0	10.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		41.7	50.0	8.3		33.3		58.3	41.7		0.0	58.3		8.3

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	8.3	8.3	8.3	25.0	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	8.3	41.7	8.3	58.3
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	16.7	0.0	8.3	25.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	8.3	8.3	8.3	25.0
4 原 材 料 高 及 び 不 足	25.0	8.3	8.3	41.7	11 需 要 の 停 滞	8.3	8.3	0.0	16.7
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	16.7	0.0	16.7	33.3	13 そ の 他	8.3	0.0	0.0	8.3
7 人 件 費 の 増 加	0.0	16.7	0.0	16.7	無 回 答	0.0	8.3	41.7	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 魚・野菜等の価格上昇
- ・ 来期は季節要因により売上増加見込み
- ・ 居酒屋チェーン店が多くなってきている

- ・ 外国人客向けに英語表記メニュー作りを考えている

《サービス業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(平成28年7月～9月期)と比べた 今期(平成29年7月～9月期)の状況				前期(平成29年4月～6月期)と比べた 今期(平成29年7月～9月期)の状況				今期(平成29年7月～9月期)と比べた 来期(平成29年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	35.7	35.7	28.6	7.1	28.6	28.6	42.9	△ 14.3	57.1	28.6	14.3	42.9
2 採算	35.7	42.9	21.4	14.3	35.7	42.9	21.4	14.3	50.0	35.7	14.3	35.7
3 仕入単価	23.1	76.9	0.0	23.1	15.4	84.6	0.0	15.4	15.4	76.9	7.7	7.7
4 従業員数	/	/	/	/	0.0	100.0	0.0	0.0	16.7	83.3	0.0	16.7
5 資金繰り	/	/	/	/	7.1	85.7	7.1	0.0	0.0	85.7	14.3	△ 14.3

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		35.7	35.7	28.6		7.1		42.9	50.0		7.1	35.7		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	28.6	0.0	0.0	28.6	8 設備店舗の狭小・老朽化	14.3	7.1	0.0	21.4
2 大企業進出による競争激化	0.0	7.1	7.1	14.3	9 取引条件の悪化	0.0	14.3	0.0	14.3
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	0.0	0.0
4 原材料高及び不足	0.0	0.0	7.1	7.1	11 需要の停滞	0.0	0.0	7.1	7.1
5 在庫製品・商品の過剰	7.1	0.0	0.0	7.1	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	7.1	7.1	7.1	21.4	13 その他	28.6	7.1	0.0	35.7
7 人件費の増加	0.0	0.0	0.0	0.0	無回答	14.3	57.1	71.4	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ インターネット広告が好調
- ・ 運賃・金属価格・労務費の上昇により仕入単価上昇
- ・ 相次ぐF C系ホテルの開業により今後影響が出てくるだろう

- ・ チェーン店との差別化ができており、その点を評価してくれた客がきている

《建設業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（平成28年7月～9月期）と比べた 今期（平成29年7月～9月期）の状況				前期（平成29年4月～6月期）と比べた 今期（平成29年7月～9月期）の状況				今期（平成29年7月～9月期）と比べた 来期（平成29年10月～12月期）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	33.3	50.0	16.7	16.7	50.0	0.0	50.0	0.0	66.7	33.3	0.0	66.7
2 採算	66.7	16.7	16.7	50.0	33.3	33.3	33.3	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0
3 仕入単価	20.0	80.0	0.0	20.0	20.0	80.0	0.0	20.0	40.0	60.0	0.0	40.0
4 従業員数					16.7	66.7	16.7	0.0	16.7	83.3	0.0	16.7
5 資金繰り					40.0	40.0	20.0	20.0	40.0	60.0	0.0	40.0

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		50.0	33.3	16.7		33.3		33.3	50.0		16.7	16.7		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	16.7	0.0	16.7	33.3	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	16.7	0.0	16.7
2 大企業進出による競争激化	16.7	16.7	0.0	33.3	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	33.3	0.0	33.3
4 原材料高及び不足	0.0	0.0	16.7	16.7	11 需要の停滞	0.0	0.0	0.0	0.0
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	50.0	0.0	33.3	83.3	13 その他	0.0	16.7	33.3	50.0
7 人件費の増加	16.7	0.0	0.0	16.7	無回答	0.0	16.7	0.0	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 消費増税に向けて需要増となりそう
- ・ 採用難による人材不足
- ・ 業界が忙しそうで職人の不足する時がある